

## エミレーツ航空、機内でのモバイルバッテリー利用に関する安全規則を改定



**アラブ首長国連邦（UAE）ドバイ、2025 年 8 月 8 日：** —エミレーツ航空は、2025 年 10 月 1 日より機内でのあらゆる種類のモバイルバッテリー使用を禁止します。モバイルバッテリーとは、スマートフォン、タブレット、ノートパソコン、カメラなどの電子機器に電力を供給するために設計された携帯用の充電デバイスを指します。お客様は、下記の条件を満たす場合に限り、モバイルバッテリーを 1 台まで機内に持ち込むことが可能ですが、機内での使用は認められません。モバイルバッテリーを用いて電子機器を充電すること、また機内の電源を利用してモバイルバッテリー自体を充電することも禁止されます。

### エミレーツ航空の新たな規則は以下の通りです：

- エミレーツのお客様は、100Wh 未満のモバイルバッテリーを 1 台までお持ち込みいただけます。
- 機内では、モバイルバッテリーを個人用機器の充電に使用することはできません。
- 機内電源を用いてモバイルバッテリーを充電することは許可されていません。
- 持ち込むすべてのモバイルバッテリーには、容量定格情報が記載されている必要があります。
- 機内では、モバイルバッテリーを頭上の手荷物棚に置くことはできず、座席ポケットまたは前の座席の下にバッグに収納する必要があります。
- モバイルバッテリーの受託手荷物としての預け入れは禁止しています（従来の規則）。

## エミレーツ航空はなぜこの変更を行うのか？

エミレーツ航空では、機内でのモバイルバッテリー使用に関する安全性について包括的に検証した結果、そのリスクを軽減するために今回の措置を実施することを決定しました。近年、モバイルバッテリーを使用するお客様が著しく増加しており、航空業界全体で機内でのリチウム電池関連の事故が増加しています。

モバイルバッテリーは主にリチウムイオン電池またはリチウムポリマー電池を使用し、外出先でデバイスを充電するためのポータブルバッテリーパックとして機能します。電池には、電解液中に分散したリチウムイオンが含まれています。イオンは電解液中を流れ、電池の充放電時に2つの電極間を行き来します。電池が過充電または損傷すると、「熱暴走」を引き起こす可能性があります。電池の熱暴走とは、電池セル内の発熱が放熱能力を超え、温度上昇が加速度的に進行して制御不能な状態に至る現象を指します。これは、火災、爆発、有毒ガスの発生といった危険な結果につながる可能性があります。

ほとんどの携帯電話や高性能なリチウム電池駆動デバイスには、過充電を防ぐために電池にゆっくりと電流を流すトリクルシステムが内蔵されていますが、多くのモバイルバッテリーにはこの安全装置が備わっておらず、リスクが増大します。すべてのモバイルバッテリーがエミレーツ航空の機内における新しい規則の対象となります。

エミレーツ航空の新しい規則では、機内でのモバイルバッテリーの使用を禁止することで、モバイルバッテリーに関連するリスクを大幅に軽減します。機内のアクセスしやすい場所にモバイルバッテリーを保管しておくことで、万が一火災が発生した場合でも、訓練を受けた客室乗務員が迅速に対応し、消火活動を行うことができます。

安全はエミレーツ航空の核となる価値観の一つであり、あらゆる業務と実践の基盤です。エミレーツ航空は、お客様と従業員の安全を常に取り守り、安全レベルの維持・向上に継続的に取り組んでいます。



## エミレーツについて

エミレーツ航空は 2002 年に日本就航。成田国際空港・羽田空港・関西国際空港から、ドバイをはじめとする世界各地へ快適な空の旅を提供しています。当社は航空業界で最新かつ効率性と快適さを備えた航空機を運航し、多様な文化的背景をもつ当社の従業員は、6 大陸のすべてで受賞歴を誇るサービスを日々お客様に提供しています。

## お問い合わせ先

エミレーツ・グループ 広報

Redhill 株式会社

Email: [ekjapan@redhill.asia](mailto:ekjapan@redhill.asia)